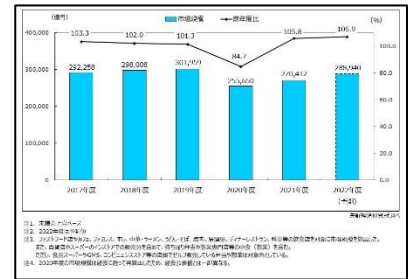


■外食市場の概要

1. 市場規模の推移

- 右グラフは外食市場に関する売上高ベースのグラフ。
(矢野経済研究所調べ)
- コロナ1年目の2020年は、前年比84.7%と壊滅的。
- 2021年は、宅配などを中心に売上が回復。2022年は、アフターコロナのような状態になりさらに回復。
ただし、2017年の水準までは回復していない。
- 市場回復を遅らせている要因には、以下がある。
 - ✓ リモートの定着による、オフィス街飲食利用の減少
 - ✓ 飲み会人数の減少
 - ✓ 物価高に起因した外食単価アップで、飲食店が勝ち組・負け組に二極化



■地域市場の動向

1. 練馬エリアの概況

- 練馬駅は、西武池袋線・メトロ・都営大江戸線が乗り入れる、郊外型ターミナル駅。
乗降客数は1日に11万人、途中下車による飲食利用なども少なくない。
- 練馬区は、人口72万人(2016年5月1日データ)を誇る、巨大なベッドタウンでもある。

2. 練馬エリアの飲食店の概況

- 西武池袋線のミシュラン掲載店は、食べログによれば20店舗。
うち、麺(ラーメン・うどん)が15件。このように、グルメエリアとなっている。
- 練馬エリア及び西武池袋沿線は、各駅に大型商店街があり、飲食業は賑わっている。
- 一方で、『古き良きお店』は、コロナ禍の影響で、経営がかなり厳しくなっている。

ラーメン店 練馬駅 42 店舗 (食べログ掲載)	西武池袋線は全体で、ミシュランに掲載されるなど、有名店が多くあり、激戦区となっている。有名店の勢いに押されて顧客/売上を減らしている一般店は、経営が厳しく、コンサルティングの余地は大きい。
カフェ 練馬駅 61 店舗 (食べログ掲載)	コマダ・星乃などの新興勢力と、スタバ・ドトールなどの定番が優勢。 コロナ禍に、巣ごもりの延長で個人による出店が相次いだり、経営スキルが得られず閉店するケースも多い。コンサルティングの余地は大きい。
小規模居酒屋・バー 練馬駅 64 店舗 (食べログ掲載)	『コロナで飲み会が減った』『コロナで居酒屋の営業時間が短くなった』『若者のお酒離れ』という3つの理由で、経営・集客に苦しむバーが増えている。コンサルティングの余地は大きい。

■取組内容の概要

1. セミナースペースのレンタル

- セミナーを開催するためのスペースとして、新規にレンタルスペース・テナント等を借りる。

2. セミナー向けの整備

- 撮影・動画編集環境の整備(レフ板・ソフトウェアなど)
- アシスタントの雇用(資料配布・誘導などを実施)

3. チラシの制作・配布

- 『無料ホームページセミナー』のチラシ。弊社でも、『無料体験』をベースにした、『ホームページセミナー』や『コンプライアンスセミナー』などから集客を実施する。
- また、『強みをPRした集客』を行うために、各『オンラインコンテンツ』をチラシのテーマとして配布することも検討する。